

子どもを虐待 父よ立ち直って

支援プログラム考案 資金募る

どいつながりにくい父親向けのプログラム開発が課題だった。

子どもを虐待してしまっ

た父親たちに向けた支援プ

ログラムが考案された。心

の奥底にあるトラウマと向

き合い、怒りをコントロール

ルする力をつけることで回

復を促す。普及に向け、開

発者らはクラウドファンデ

ィング（CF）で運営資金

の調達を目指している。

虐待をした親やDV被害

への回復支援に長年携わる

民間研修機関「エンパワメ

ント・センター」（大阪府

高槻市）を主宰する森田ゆ

りさんが開発し、「MY

TREE父親プログラム」

と名付けた。

森田さんは2001年、

「MY TREE」を作っ

た。児童相談所などでも取

り入れられ、これまでに母

親ら約1400人が修了。

384人の追跡調査で、怒

りの感情や暴力の抑制に大

きな効果が確認されたが、

母親に比べて児童相談所な

虐待の当事者が10人前後

のグループとなり、匿名や

秘密厳守などを条件につら

かった体験などを打ち明け

合う。専門の訓練を受けた

3〜4人の進行役とともに

毎週1回約2時間、計13回

のセッションを受ける、と

いう流れはこれまでの「M



「MY TREE父親プログラム」に参加した父親たち（画像の一部を加工しています）森田ゆりさん提供、2021年11月28日、大阪府高槻市

ルプレーや、互いが平等に発言できる家族会議の開き方などを盛り込んだ。

昨年8〜12月、深刻な虐

待事案として児童相談所な

どから紹介された父親ら8

人にプログラムを試行し

た。修了後、暴力が原因で

妻子と別居中という参加者

は「もっと早くに『父親プ

ログラム』に出会っていたの

ら、結果が変わっていたの

かと思うと悔やまれますが、必ずや子ども・妻に、自分が変わったことが伝わると信じたい」とする感想を森田さんらに寄せた。

厚生労働省の統計による

と、20年度に全国の児童相

談所が受けた虐待の相談は

20万件を超え、過去最多を

記録した。虐待したのは実

母が47%、実父が41%を占

める。虐待をやめられない

親たちの治療は急務だが、

特に父親の回復に向けたプ

ログラムはほとんどないの

が実態だ。

森田さんは「試行で、ジ

エンター問題などの社会のひずみに、彼ら自身も苦しんでいることを改めて感じた。家族との関係を取り戻せる人を1人でも増やしたい」と語る。

CFは28日まで。プログ

ラムの運営を担う一般社団

法人「MY TREE」

が、7月から大阪府で、8

月から栃木県で始める講座

の運営費として300万円

の寄付を目指している。C

Fの詳細は（<https://readvfor.jp/projects/mytree>）。

（編集委員・永井晴二）